

給食だより

はすねだこども園

5月

かしわもちに 込めた思い

こどもの日(5月5日)に、かしわもちを食べる理由を知っていますか？ かしわの木は、新芽が出るまで古い葉っぱが落ちないことから、「跡継ぎが絶えない」「子孫代々栄えるように」という願いが込められているのです。こどもの日のお祝いとともに、こんな話も伝えていきたいですね。

菖蒲湯に入ろう

5月5日のこどもの日には菖蒲(しょうぶ)湯に入る習わしがあります。菖蒲の強い香りが災いを払うとされ、菖蒲を浮かべたお風呂に入る風習が広がりました。お湯で柔らかくなった菖蒲を頭に巻くと賢くなるという言い伝えもあるとか。

0・1・2
歳児

箸につながるスプーンの持ち方

箸を持ち始めるのは3歳を過ぎてから。それまでに、発達に合わせてスプーンを持って使う経験を重ねることで、箸へと自然な形で移行していきます。

じょうずに
食べられる
かな～

① 手づかみ食べ
(生後9か月頃～)



ひじを起点に、つかんだ物を口に運ぶ。

ワフポイント

手づかみ食べの頃からスプーンは置いておきましょう。自然に興味をもち始めます。

② 上手握り
(1歳～1歳半頃)



柄の部分を上から握る。



ワフポイント

鉛筆握りは、手首がなめらかに動くようになってから。クレヨンなどがうまく握れていれば移行して。

③ 下手握り (1歳半～2歳頃)



柄の部分を下から握る。

③ 鉛筆握り (2歳頃～)



スプーンの柄の部分を、3本の指で持つ。



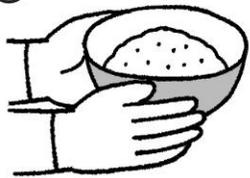
※発達には個人差があります



お茶碗の正しい持ち方

意外に見落としがちなのが、お茶碗の持ち方です。正しい持ち方だと、お茶碗も安定します。5歳頃になったら、大人が手本を見せながら行うと伝わりやすくなります。

①



両手を添えて、お茶碗を持つ。

②



4本の指をそろえて茶碗を載せ、親指はふちに添える。

ふち

まっすぐに載せる。

やりがちNG



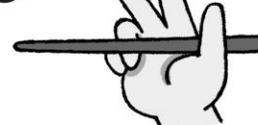
指を広げてつかんで持つ。

親指をふちに掛けて持つ。

親子で確認 箸の持ち方

箸への移行は、子どもの様子を見ながら、家庭と園で連携して進めていきましょう。

①



親指、人さし指、中指を突き出し、図のような形にする。

②



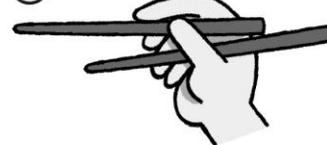
鉛筆を持つように、3本の指で箸を持つ。

③



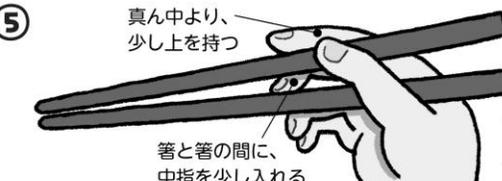
先を持ち上げて、横向きになるようにする。

④



もう1本の箸を、親指の付け根と、薬指の上に載せる。

⑤



真ん中より、少し上を持つ

箸と箸の間に、中指を少し入れる

下の箸は動かさず、上の箸だけ動かす

箸の間に中指の先を入れて持つ。